



今尾の子



令和5年度 えのき通信
海津市立今尾小学校だより
令和5年9月25日

「スポーツ・読書・芸術の秋」



今年の夏は猛暑が続き、健康管理の面でもたいへんな夏でしたが、ようやく朝夕は秋らしい涼しさが感じられるようになり、子どもたちにとっても、快適な環境の中で学校生活を送ることができ季節となりました。秋はスポーツ、読書、芸術など様々なことをするには最適な季節です。「秋の夜長」というように秋分を過ぎると、あつという間にあたりは暗くなってしまう。家でゆっくりと読書や自分の興味のあるものに集中して取り組むこともできます。

十月には、五年生の宿泊研修、四年生の稲刈り体験、十一月三日(金)にはえのきコンサートを予定しています。それぞれの学年でこの季節にしか味わえない学習経験ができるよう教育活動を行ってまいります。感染拡大の状況が心配ですが、ご家庭におかれましても、引き続き感染症対策についてご理解とご協力をお願いいたします。

「前期から後期」へつなぐ



九月四日(月)には、四月にも行いましたが、五年生と六年生が「二学期をどうするのか」をテーマに高学年集会を行い、今尾小をリードしてくれています。二学期が始まって約一ヶ月が過ぎたところですが、

前期から後期へつなぐ時期にきています。前期を振り返る際には、どうしても「悪いこと」や「できていないこと」に目がいきがちですが、個人や学級で「新たにできるようになったこと」や、「小さいことでも続けていること」等、こつこつと積み上げていることを見落とさずに財産として確認し、さらによいもの(本物)にできるように、この節目で新たな目標をつくって後期につなげてほしいと思います。

「言葉」の大切さについて



言葉がけにお金はありません。ですから、お金をかけるより、シャワーのように「やさしい言葉」をいっぱい子どもにかけてあげてほしいのです。我が子の状態を受け止め、努力を認め、優しい言葉をたくさんかけることで、やさしい素直な子に育ちます。

例えば、「△△の発表会で緊張している我が子が目の前にいるとしたら、どんな言葉をかけてあげますか？
大切にしたいポイントは四つです。

- ① 事実を受け入れる。(受容)
- ② 前向きな捉え方に変換する。(承認)
- ③ してほしいことを肯定的に伝える。(行動)
- ④ 背中をトンと押してあげる。(激励)

- ① ○○ちゃん、緊張しているんだね。
- ② でもね、緊張していることは、今日まで一所懸命練習してきたってことよね。
- ③ だから大丈夫！！自分を信じて、思いっきり楽しんでほしいな！
- ④ お母さんが、客席からしっかり見守ってるから大丈夫。安心して、行ってらっしゃい！！

子どもが悩んでいるときや落ち込んでいるときは、「がんばれ！」もいいですが、「がんばろう！」と言ってあげてください。お母(お父)さんと一緒だという思いが強くなり、自然とやる気が出てきます。

逆に、『親が子どもに言うてはいけない8つの言葉』もチェックしてみてください。

- 1 なにやっつてんの！
- 2 何回言ったらわかるの！
- 3 誰がそんなことしていいって言ったの！
- 4 余計なことするんじゃない！
- 5 もっつ！
- 6 わかった！わかった！わかった！
- 7 早くしなさい！
- 8 もう知らない！

いくつ思い当たりましたか？
ついつい言ってしまうものばかりですね。でも、さっそく今日から心がけてみてはいかがでしょう？



(高橋 崇敏)